

平成30年度 学校教育経営方針（スクール・プラン）

■ 教育方針（大枝三訓）

「自尊自立」・「自他共生」・「協働感謝」

■ 学校教育目標

確かな学び・心身の豊かさ・つながる力

■ 基本理念（学校教育目標を達成するために）

1. 生徒一人ひとりを徹底的に大切し、より丁寧な教育活動をおこなう。
2. 教職員が互いの責任を明確にし、組織としての協働性をさらに高める。
3. 家庭・地域・関係機関等との連携を密にし、本校の教育力向上を目指す。

■ めざす生徒像

- ・自ら課題を見つけ、学びに向かう生徒。（自尊自立⇒自学・家庭学習[予習]ができる）
- ・心身ともに健康で、互いを思いやる生徒。（自他共生⇒いじめをしない・みすごさない）
- ・協働して課題解決を図ろうとする生徒。（協働感謝⇒縦割り集団で活動ができる）

■ 目指す教職員像

- ・豊かな人間性を高め、生徒と保護者に寄り添いながら学び続ける教職員

■ 研究主題

「共に高め合い、協働的に『つながる力』を持つ生徒の育成」

■ 指導の重点【大枝クオリティ】(質の向上)

1. 人権尊重の精神を基盤に据えた縦割り活動による「集団づくり」
→全学年での「縦割り」による行事等
2. 確かな学力をつける「授業づくり」
→小中一貫教育の軸となる「学びのガイドライン」の徹底（「めあて」と「振り返り」等）
3. 自分の将来をたくましく切り拓くための「夢づくり」
→家庭学習の指導の充実（課題学習から自主学習へ）
4. 実践的な教職員研修
→研修会の持ち方と精選・「若手・中堅実践道場」の充実
5. 保護者・地域の思いを受けとめ、地域ぐるみの教育を推進する
→小中ブロックでの学校運営協議会を主体とした「開かれた学校」の推進

■ 具体的な取り組み（目標数値）

1. 「大枝つながりプログラム」（集団づくり）

- ① 「いじめゼロ」を目指す。
 - ・いじめを止めることができる 80%超
 - ・いじめを許さない仲間づくりができている 90%超
- ② 「学級目標」を達成する。
 - ・学級目標は達成されている 90%超
- ③ 「縦割り活動」を中心としたキャリアモデル(上級生の姿)の確立。
 - ・上級生と下級生は協力して活動している 80%超
- ④自己肯定感を高め「不登校生徒ゼロ」を目指す。
 - ・自分にはよいところがある 80%超
 - ・みんなの役に立っている 80%超
- ⑤大枝生であることに「誇り」を持つ。
 - ・学校に誇りを持っている 80%超

2. 「大枝ブロック 学びのガイドライン」（授業づくり）

- ① 「年間 5 回の学力分析研修会を実施」→ジョイプロ・全国学テ・学プロ。
 - ・3 年次には 1 年入学時の指数+5 ポイント以上を目指す
- ② 「年間 5 回の授業研究会を実施」→校区小学校の参加も呼びかける。
 - ・すすんで学習に取り組んでいる 90%超
- ③ 「夏期研修会の充実」→「本校の課題」に特化した内容をおこなう。
 - ・家庭学習の習慣が身についている 80%超
- ④学力不振生徒に対する「補充指導」→「未来スタディ」事業を全学年展開。
 - ・授業の様子や授業態度はよい 90%超

3. 「大枝キャリア・アップ」（夢づくり）

- ①家庭学習の指導の充実
 - ・自主的に家庭学習を行っている 70%超
- ② 「総合的な学習の時間（キャリア教育内容）」を 3 学年で系統的に実施。
 - ・自分を大切にしている 80%超
- ③3 学年を見通した「進路学活」の計画的な実施。
 - ・勉強することが将来役に立つと思う 80%超

4. 「小中一貫教育の推進」（学びの連続性）

- ①小中「学びのガイドライン」の徹底と継続的な見直し
- ②小中連携事業の拡充（部活見学会の実施・入学者説明会での生徒活動など）。
- ③夏季合同研修会の内容を充実。

④小中連携事業の推進→小中合同ポスターセッションを実施予定

5. 「開かれた学校」（学校運営協議会） 小中ブロックでの活動に

- ①学校評価支援部会→学校運営に関する助言や援助など
- ②学び支援部会 →授業ボランティア・図書館の開館・土曜学習など
- ③つながり支援部会→地域との連絡・調整、ボランティア募集など